

<総計欄> 3月の仕入量は164,369トン前月比+10.1%、前年同月比-1.8%、販売量は155,552トン前月比+10.2%、前年同月比-6.9%。仕入量、販売量ともに前月比著増、前年同月減少となりました。在庫量は239,855トン前月比+3.8%、前年同月比+5.9%、在庫量は前月比、前年同月比とも増加しました。在庫率は154.2ポイントと下降しました。

2020年度第4四半期の販売量は441,016トン。前期比-10.5%、前年同期比-11.5%と著減しました。2020年度の販売量は1,894,116トン。前年度比-11.6%と著減し、200万トンを大きく割り込みました。鉄鋼流通業界の取扱量が年々縮小していることに加え、新型コロナウイルスの影響によるものと思われます。

3月販売量は前月比で増加していますが、稼働日が多いため日割りにすると減少しています。中小建築案件は相変わらず低迷しており、先が見えない状況です。また、一部の建築案件について延期やストップするケースも出てきています。値上げ玉が入ってきているため流通は価格転嫁に努めている状況です。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼6.8%増加、東京15.8%著増、大阪7.4%増加、愛知38.3%著減しました。H形鋼は10.3%著増、東京18.5%著増、大阪1.4%増加、愛知21.5%と著増しています。その他品種では山形鋼14.9%著増、溝形鋼19.0%著増、コラム9.5%増加、C形鋼8.5%増加しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼3.7%増加、東京2.6%増加、大阪6.8%減少、愛知15.5%著増しています。H形鋼は5.7%増加、東京3.5%増加、大阪7.5%増加、愛知4.2%増加しています。その他品種は山形鋼4.8%増加、溝形鋼0.1%微減、コラム2.0%増加、C形鋼1.0%減少となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

